

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：ぼらーの上和田	種別：生活介護	
代表者氏名：鹿島 巧	定員（利用人数）： 30名	
所在地：〒242-0014 大和市上和田1878-1		
TEL：046-279-6700		
ホームページ：http://www.tomoni.or.jp		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2013年12月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：		
職員数	常勤職員： 6名 非常勤職員： 18名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	社会福祉士	介護福祉士
	精神保健福祉士	
施設・設備の概要	（居室数）作業室6部屋	
	（設備等）シャワー室、相談室、アセスメントルーム、厨房、多目的室、食堂	

③理念・基本方針

理念：
ソーシャルインクルージョン（共生社会）を目指します。先駆的で開拓的な事業を展開します。

基本方針：
人権の尊重とサービスの向上を図ります。インフォームドコンセント及びエンパワーメントを大切に利用者さん主体の支援を推進します。地域との共生をめざします。ニーズの多様化を複雑化に対応します。社会のルールの遵守（コンプライアンス）を徹底します。説明責任（アカウンタビリティ）を徹底します。人材の確保・育成の為に研修体制を充実します。柔軟で行動力のある組織統合（カバナンス）を徹底します。財務基礎の安定化に努めます。国際化への対応に取り組みます。社会貢献に積極的に取り組みます。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・自閉症スペクトラム症、発達障がいの方々が充実した、豊かな生活を送れるように専門的な支援を行っていきます。
- ・事業所がワンチームとなり「やりたいこと」「新しいこと」「楽しいこと」に挑戦し続けます。

・行動障がいのあるASD（自閉症スペクトラム）の方への専門的な支援を行います。障がい特性を理解し、エビデンス（根拠）に基づいた対応方法を実践します。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年6月29日（契約日）～ 令和3年2月15日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成29年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1) 行動障害のある自閉症スペクトラムの人への専門的支援

自閉症の行動特性を理解し、エビデンス(根拠)に基づいた対応方を実践しています。場当たりの支援や個々の職員の価値観や経験に頼った支援ではなく、アセスメントを実施し利用者ニーズを把握し、利用者特性に配慮した支援に努めています。

利用者一人ひとりについて、本人を刺激するものは何か、本人が不快感を感じるものは何か、本人の自立心を阻害しているものは何かを明確にし、日々の支援の結果を強度行動障害記録表に記録します。パニックを起こした状況などを分析し対策を検討し、職員は強度行動障害支援の専門性の向上に努めています。

2) チームとしての利用者支援の推進

4人から6人の利用者グループを編成し、3人の職員がチームとなり一人ひとりの利用者の障がい特性に応じたきめ細かな支援を実施しています。自閉症評価キットを用いて文字の種類や絵合わせ、ビーズ通しなどの利用者一人ひとりの特性に応じた支援の構造化を図っています。

利用者は仕切られた空間の中でそれぞれが自分のペースで一日の作業に取り組んでいます。自閉症に関わる内部研修を毎月実施し、定期的にコンサルテーションの機会を設け、職員は自分の責任を果たすことをチーム支援の前提条件とし専門性の高い支援の提供に努めています。

3) 利用者のストレングスに着目したチャレンジシートの作成

本人目線で「できること」を目標にした「チャレンジシート」の運用を開始しました。本人の達成意欲の促進を目指して従来の個別支援計画の書式の見直しを行いました。利用者がやりたいこと、やってみたいと思うこと、職員と一緒にできることを明記し、利用者と職員が話し合いチャレンジ期間を設定します。

年2回の家族面談でチャレンジ目標の支援の成果を家族に説明します。職員は日々の支援の状況を毎日評価し支援記録に書留め、課題は何かを振り返ります。毎月の職員会議で、利用者のストレングスに着目した支援ができていることを職員全員で共有します。

◇改善を求められる点

1) 災害時を想定した事業継続計画の作成

緊急時の連絡網や緊急時安否確認メール等の仕組みを整備中です。災害時の事業継続計画は作成されていません。災害に備えた福祉サービス提供の施設独自の対策が望まれません。

2) サービス支援の標準化の取組み

各種生活支援マニュアルの状況の変化に対応した見直しとサービスレベルを維持するための個別支援計画作成のガイドラインなど、標準的実施方法の評価と見直し、及びその

結果を反映したマニュアル改定等の仕組みの整備が望まれます。

3) 職員体制の計画的な強化

福祉業界では職員の離職も多く、人材確保が難しく育成計画につなげ難い状況です。法人での求人・採用活動を実施して、法人内の異動も行われています。しかし専門職・有資格者の確保は厳しく、職員からも計画的な人材確保・定着のための取り組みが求められています。サービスの安定的な提供のために本部との協力による人材確保と共に、管理者と職員とが協力していく職務体制への検討が期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

自閉症スペクトラムの方々への支援に関して、法人として初めて障がい特性に特化した施設となります。

利用者さんに対して、個々の強みを意識した支援を提供しています。

ただ、利用者さんをチームとして支える意味で、職員体制の再構築が必要な状況です。昨今、なかなか人材確保が難しい状況が続いていますが、計画的に求人・採用を行い、併せて人材育成、チーム力向上に努めていきます。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり